

特定非営利活動法人 日本免疫学会
平成 27 年前期 **Tadamitsu Kishimoto International Travel Award**
研究発表報告書

申請者氏名	永田 雅大	会員番号	0032422
申請者の所属・職名	九州大学 生体防御医学研究所 分子免疫学分野 大学院生 博士課程3年		
出席会議名	FASEB Science Research Conferences (Signal Transduction in the Immune System)		
発表論文タイトル	Role of C-type lectin receptor Mincle in immune responses to <i>Helicobacter pylori</i>		

実施結果:

この度は Kishimoto Tadamitsu International Travel Award に選出して頂き、誠に有り難うございます。岸本忠三先生をはじめとする選考委員の先生方、そしてご推薦下さった山崎晶先生に心より御礼申し上げます。

今回私は、2015 年 6 月 7 日から 12 日にかけて米国 Big Sky で開催されました FASEB Science Research Conferences (SRC) の中の「Signal Transduction in the Immune System」というワークショップに参加してまいりました。免疫学研究の中でも、シグナル伝達の分野において第一線でご活躍されている研究者の方々が一堂に会し、最新の研究成果について活発な議論が行われました。

私はC型レクチン受容体の新たな病原体リガンドについてポスター発表をさせて頂きました。私の研究成果の中には、解釈の難しい部分も含まれていたのですが、その疑問点に関し、私の実験データに基づいた様々なsuggestionを頂き、1つのデータを広く深く考える重要性を実感致しました。

私は大学院博士課程修了後には海外研究留学を行いたいと考えております。今回、世界を舞台にご活躍を続けておられる研究者の方々と寝食を共にすること、さらに、海外で研究を行っている若手研究者の方々と話をする多くの機会をこの期間に得たことは、自身の将来選択において非常に重要な経験となりました。

今回の学会を通じ、自身の研究分野が世界の中でどのような競争の中にあるのかを実感することができ、より一層研究に励みたいと感じました。また、名だたる研究者の方々の研究室において、今現在どのようなテーマが進んでいるのかを知り、興味深い発表についてディスカッションの機会を多く持つことができたことは、今後の研究姿勢に大いなる影響を与えるものとなったと確信しております。

Kishimoto Tadamitsu International Travel Award のご支援により参加させて頂いた本学会で得られた貴重な経験を糧に、今後の研究の発展に向け一層精進してまいりたいと存じます。